

地方都市の公共交通ネットワークの利便性評価手法

奥田大樹 渡邊拓也 深澤紀子 鈴木崇正 榊原弘之 中村優志

多くの地方都市では、公的な交通実態調査が十分に実施されておられません。そのため、地域の交通実態やニーズが把握しづらく、地域全体にとって望ましい公共交通ネットワークを形成することが難しい状況にあります。本研究では、地方都市の公共交通ネットワークの利便性の評価値を、公的な交通実態調査のデータが無くても定量的に推計し、これを用いて、様々な公共交通ネットワークの改善案の効果を、現状を基準として相対的に評価する手法の開発を進めています。そして現在は、地方都市内の各任意地点間の、出発時間ごとの公共交通移動のアクセシビリティに、各移動区間と各移動時間の重要度を掛け合わせて、地域の全体

の公共交通ネットワークの利便性の評価値を、定量的に推計する手法を考案しました(図)。また、利便性の評価値の計算や、様々な公共交通ネットワーク改善案の効果の相対評価を実施するための、利便性評価システムの開発も進めています。

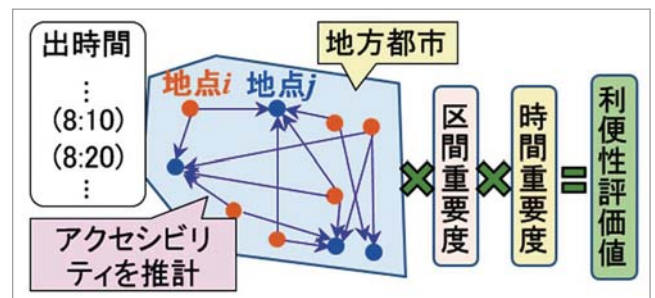


図 公共交通ネットワークの利便性評価値の推計